

●特集. 2020年10月30日 エーゲ海の地震

（1）概要

2020年10月30日20時51分（日本時間、以下同じ）にエーゲ海^{（注1）}の深さ21kmでMw7.0の地震（Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード）が発生した。この地震は、発震機構（気象庁によるCMT解）が南北方向に張力軸を持つ正断層型で、地殻内で発生した。

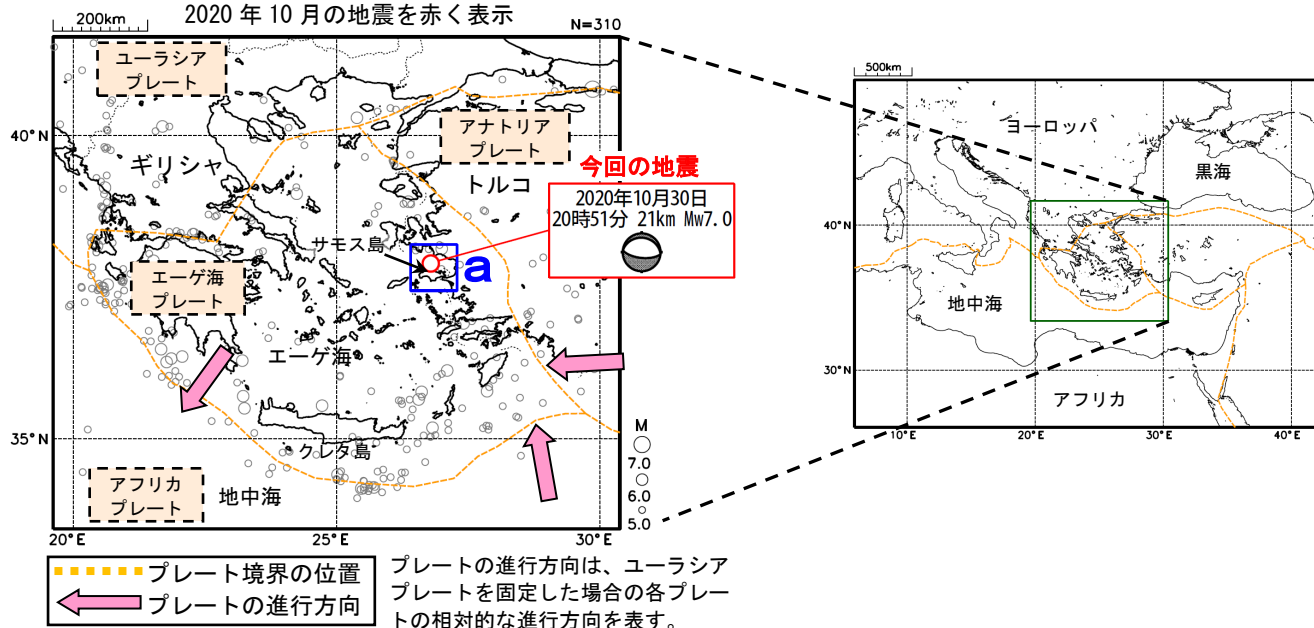
気象庁は、この地震により、遠地地震に関する情報を同日21時25分（日本への津波の影響なし）に発表した。

この地震により、津波が発生し、イズミル・スフェリサル地区（トルコ）では、海岸から約50m内陸まで津波が到達したほか、サモス島（ギリシャ）では津波により建物被害が生じた（NOAAによる^{（注2）}）。また、この地震により、トルコでは死者115人、負傷者1034人、ギリシャでは死者2人などの被害が発生した^{（注3）}。

震央分布図^{（注4）}

（1990年1月1日～2020年10月31日、
深さ0～100km、M≥5.0）

2020年10月の地震を赤く表示



（注1）気象庁が情報発表に用いた震源地名は「地中海」（詳しい震源の位置は「ギリシャ、ドデカネス諸島」）である。

（注2）NOAA（米国海洋大気庁：National Oceanic and Atmospheric Administration）。津波の高さと津波による被害は2020年11月4日現在のもの。

（注3）今回の地震の被害は、出典は以下の通り。

ギリシャの被害は国連人道問題調整事務所（OCHA）による。

トルコの被害はトルコ政府による（<https://www.afad.gov.tr/izmir-seferihisar-depremi-duyuru-74-09112020---1800>）。

（注4）今回の地震の発震機構とMwは気象庁による。それ以外の震源要素は米国地質調査所（USGS）による（2020年11月20日現在）プレート境界の位置と進行方向はBird（2003）*より引用。

*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027,